

# 介護のおしごと×荒川区

だから私は、この仕事を続けたい！

「喜怒哀楽」がギュッと詰まっている介護の現場。  
人と人がしっかりと向き合っているからこそ、  
日々、小さなものがたりが生まれています。



特養で働いていた頃、髪の毛をオレンジ色に染めたいと希望された女性がいらっしゃいました。とても素敵に仕上がり、ご本人はニコニコ。息子さんもオレンジ色の髪の毛のお母さんを見てニコニコ。ご本人の希望を叶えることができました。(主任ケアマネジャー／40代)

長く施設で過ごした旦那さんが在宅へ戻り、奥様の懸命なケアのおかげもあり1週間後に会話が可能に。今では喧嘩もできるまで回復し、家族の力の偉大さを再認識しました！(看護職／40代)

家族病院在宅医療介護チームが一丸となって、一家の柱である「お父さん」を在宅看取りとして支えたことは記憶に新しく、退院された数日後に結婚記念日でご家族一同が集まりお祝いをしました。その数時間後、奥様が見守る中で静かに息を引取られました。(ケアマネジャー／50代)

送迎をしている時に、利用者様から「あなたが来てくれたから今日はいい日になりそう」と言って頂けたこと。その様に言って頂けて1日とても幸せでした。(介護職／20代)

難病末期の方の入浴希望。物理的に訪問入浴は難しくデイサービスに決定。2回目利用を楽しみにしていたが、その直前状態が急変しご逝去された。たった1回のご利用だったが間に合って良かった。(ケアマネジャー／40代)



寝たきり、1人暮らし。最期まで家でという想いに医師、看護師、ヘルパー皆で支えた。意識もうろうとしながら「私に関わって下さった皆様ありがとうございます」と穏やかな笑顔だった。(ケアマネジャー)

介護の仕事はミラクル！ぜっ～たい嫌だ、とテコでも動かなかったのに、今ではデイサービスの日は朝5時起き。おしゃれをして満面の笑顔で、今か今かと迎えを待っています！（ケアマネジャー）

40代の私「いくつに見える？」、おばあちゃん「んー、あたしと同じくらいかね？」。最近白髪が増えたけど昭和9年生まれに見えるとは…（管理者（通所介護）／40代）



ごめんね。申し訳なくてと…謝らないで悪いことしているわけではないから『ありがとう』が嬉しいよ！（介護職／50代）

友人が母親を自宅で看取った。ケアマネ中心にDr、看護師、介護士、チーム一体で最期まで本人や家族の納得がいく介護ができた。介護って温かくて心強くて尊いお仕事ね、と友人は涙ながらに話してくれた。(介護職／50代)

誕生日にスタッフ一同と記念写真。写った笑顔が最高で遺影に使うねといつお迎えが来ても安心だから早く来て欲しいといやいやまだまだ長生きしてねと一同大笑い。(生活相談員／50代)

親の認知症状を受け入れられない子、子の世話になりたくない親。お互いを大切に想うがこそぶつかり合ってしまったご家族が介護サービスをご利用したことで心に余裕ができ、再び寄り添い合えたできごとがありました。(管理者・介護支援専門員／40代)

『お父さん早く迎えに来てと拝みに行くの』  
私、「どこまで行くの？」  
『ほら商店街のところ』  
私、「確か延命地藏…うん！まだまだお迎え来ないかも」  
(介護職／50代)



普段あまりお話をされない入居者様ですがオムツ交換介助後に、「ありがとうございます」と良く言ってくださり、いつも心が温かくなります。(ケアマネジャー／60代)

ご利用者様から「あなたがいてくれると安心するわ」と言ってくださり、とてもうれしくなり、やりがいを感じました。(管理者(グループホーム)／30代)

この仕事をしていて大変なことはたくさんありますが、やはり利用者様の笑顔を見ると嬉しい気持ちになります。とくに季節のイベントでは嬉しくて泣いてしまう人もいて、実施して良かったと私も感動します。(介護職／20代)

介護の仕事を通して、入って慣れないうちは、3Kとされているように、汚いキツイ等大変な事も沢山あったけどその中でも「ありがとう」や利用者の方の笑顔を見ると心が嬉しくなった。(介護職／30代)



認知症の進行により、自宅での介護が限界になり入居された方が早々に馴染んでくださり、とても良い笑顔をしているので家族に写真を送ると「母が幸せそうで、私達も幸せになれました」との言葉に介護の大切さを感じました。(ホーム長／50代)

トイレのゴミ箱に尿いっぱいのリハパン。替えのパンツを持っていない利用者さんは「履いているよ。」と見せつけた。でもね、私はそんな透明な最先端パンツ見たことないよ。(看護職／30代)



利用時は色々支援の必要な方、苦勞する事もある。しかし、自宅にお送りすると『今日も楽しかった～。また宜しくね』と笑顔で言って下さる。その笑顔と言葉でまた頑張れる。(介護職／40代)

食器を洗っていると、女性利用者様が『私が洗うから、男性にさせるのは申し訳ない』と言う。“ありがとうございます。でも今の時代、当たり前ですよ”と応える。古き日本を感じるとともに、気持ちをありがたく思う。(介護職・ケアマネジャー／50代)

女性入居者より『お子さんいるの?』と聞かれ、いないと答えると『あ～、私が若かったらな～』と悔しがる素振り(笑)。冗談でもそのような事を言えるのは良いなと思った。(リハビリ職/50代)

認知症の親御さんと二人暮らしのご家族から『あなたたちのおかげで、自宅で一緒に過ごすことができます。感謝しかありません』と言っていた。やりがいを感じました。(介護職/60代)

認知症の方の好きな歌や音楽を探り当て、一緒に歌い、踊って見せたら大変喜んでいただけた。私の顔を覚えて下さり『あなたがいると嬉しいわ』と言って下さる。モチベーションの源です。(介護職/60代)

自宅の鍵を紛失してご利用をお休みしていた利用者様。心配で弁当を持って様子を見に行くと、昼食を食べるのも忘れて必死で探されていました。一緒に鍵を見つけ、弁当を渡すと安心した顔をされて私達もほっとしました。(管理者・生活相談員/50代)

私のデイサービスでは機能訓練に力を入れている。ご利用を始めたばかりの頃は、訓練を拒否していた利用者様。他の利用者様が訓練をしている姿を見たり、職員とも関係ができた頃、「私もやろうかな」と参加できたこと。(看護職・機能訓練指導員/60代)

退院されて戻られた入居者様のお元気な姿を見た時、とてもうれしい気持ちになりました。再度体調を崩されないように、しっかりケアしようと思いました。(介護職・ケアマネジャー/50代)



利用者様とお話ししていると、昔の経験談を色々と教えて下さり勉強になります。とても楽しいです。(介護職・ケアマネジャー/50代)

利用者さんに韓国語で1、2、3を教えた時、次の週には忘れてしまっているかと思った。でも、その次の週に「あいしてる」を韓国語で言ってくれました。いつも感動しています。(介護職/20代)

認定が更新認定の際に下がる（軽度化）するとケアマネジャーとして嬉しく思います。特に要介護だった利用者様の認定が介護1になった時はケアマネとして良い仕事したなと感じました。

（ケアマネジャー／50代）

膵がん末期の利用者を担当してました。正直もう長くはないと感じていたのですが、その方から「今までありがとう」と直視して言われたことを鮮明に覚えています。（ケアマネジャー／50代）

介護保険制度及びサービス内容の説明の際にメリット・デメリットも交えて提案しているが、ご利用様が熱心に話を聞いて下さる姿勢にケアマネジャーとしてありがたく感じます。（ケアマネジャー／50代）

杖歩行が必要な男性利用者様。普段は杖を使わず歩いているが奥様と腕を組んで歩くと歩行が安定する。まさに相棒だと思いました。（機能訓練指導員／40代）

シルバーカー使用で軽度片麻痺がある女性。荷物に調節した縄跳び。「これどうしたの？」と聞くと「家で跳ぼうと思って」と真剣な眼差し。「跳べるかな？」と言うと「跳べるよ」と。野望があってこそ楽しい人生。（介護職／20代）

マンションにお住まいの利用者ご夫婦とエレベーターに乗る際、「お先にどうぞ」と譲ってくださった住人のご夫婦の心遣いに感謝します。地域の皆さんと高齢者を支えていくことって素敵だな。（介護職／50代）

お迎えにうかがうと、「あなたと会えると元気になれるの」と言ってくれる娘様。ありがたくて「お母様のことは任せて、ゆっくり休んでください」と心の中でつぶやく。（管理者（通所介護）／50代）

つづきは、あなたの  
エピソードです。

